



グラウンドワーク三島 ボランティアニュース

No.35 2008年(平成20年)5月31日発行

発行 特定非営利活動法人グラウンドワーク三島
〒411-0855 静岡県三島市本町7-30 Via701
TEL & FAX 055(983)0136
URL <http://www.gwmishima.jp/>
E-mail mishimagw@ybb.ne.jp

グラウンドワークとは.....

市民・企業・行政がパートナーシップをとりながら、地域の環境改善などを行う活動です。あなたもぜひ活動にご参加ください。
(文中グラウンドワークをGWと表記することがあります。)

「富士山湧水マップ」 インターネットで発信 & DVD教材作製



富士山周囲の湧水情報を、インターネットで発信する「富士山湧水マップ」が作られた。静岡県内を中心に100カ所が選ばれ、富士山の恵みを再認識する教材にもなり、地元以外では知られていない「幻の湧水」への手がかりにもなると期待されている。現地を訪れた人の感想欄も開設する予定。

また、今回のマップを基に、学校教材となるDVD「子どもと発見・富士山湧水物語」を作製。湧水の仕組みを分かりやすく紹介し、湧水にまつわる物語を加えて、日本の水文化の重要性について楽しく学べる内容となっている。案内役は、富士山湧水インストラクターで、子どもたちと一緒に湧水をめぐる。カルガモとカッパのキャラクターも登場。

函南 さくら 保育園 ~ 「ドイツ大使館賞」受賞~

函南さくら保育園は、幼稚園から高校まで153校が応募した「全国学校ビオトープ・コンクール2007」で、最高評価の上位5賞の1つ「ドイツ大使館賞」を受賞。

同園の応募は2度目。前回は整備の過程が評価されて優秀賞受賞。今回は整備後の維持管理・活用を継続的に進めるための体制の整い方が評価された。

同園のビオトープは2005年、GW三島との協働作業で完成し、現在は草花300種以上、小動物50種類以上が生息する。専門家の指導の下、草花や小動物に興味を持つよう、0歳児から5歳児までの年齢にあわせて、定期的に観察や学習の場を設けてきた。「子どもは発見者であり研究者」と遠藤弥生園長が語った。



源兵衛川に生コン流出 絶滅危惧魚類死ぬ

平成19年12月21日、源兵衛川に生コンが流出し、環境省から絶滅危惧類に指定されているホトケドジョウの繁殖地が壊滅的打撃を受け、大量の魚類も犠牲になり、ホタルの幼虫も見られず、生態系への大きな打撃を確認。生コンは県による電線類地中化工事現場から流出し、川底への堆積は中流部の延長500mに及び、除去作業はGW三島関係者等の手作業の人海戦術で行われた。

GW三島は、1年かけ環境調査をする一方、県と業者に対し、今後5年間定期的な環境モニタリング調査を求め、再生計画の基礎資料とする考えである。また、今回の事故の流れをまとめ、予防や事故が起きた場合の対応など、リスク管理のモデルケースとして県や業者に生かして欲しいと考えている。

専門家らは、魚の餌になる小さな生物や、ミシマバイカモなど水草への影響についても予断を許さないと指摘している。



Education for Sustainable Development

「持続可能な開発のための教育」

(環境省：国連持続可能な開発のための教育の10年促進事業)

~この地球を、未来へつなく、学びの10年~

パンフレット「みしまESD」完成



GW三島のキーワード
住民アクション
パートナーシップ
環境を創造

GW三島の活動の、これまでとこれからをESDの観点からパンフレットにまとめた。

みしまESD環境まちづくりゼミ

2月9日より24日までの8回、地域の環境や特性を生かしたまちづくりについての基礎を学ぶ「講座」と現場に出かけて三島の環境やまちづくりの「体験学習」を行った。

テーマは「若者が集うにぎわい創造のまちづくり」。学生を中心にシニアなど毎回約30名の受講生が、魅力ある三島の環境やまちづくりのためにはどうしたらよいのかを、「講座・体験学習」で、いろいろな角度から考え話し合い、さまざまな発表や提言をした。



みしまESD環境出前講座 そよかぜ学習



三島の「湧水、環境、エコ」の豊かな知識を持つGW三島の専門家やインストラクターにより、三島市内の小中学校を対象に、8校17回の三島市環境出前講座「そよかぜ学習」が行われた。身近にある自然や生き物を探したり手に触れたりして、多くの生き物がいることを知った。

また、リサイクル学習として放置竹材や使用済み割り箸での竹とんぼ作り、アルミ缶などのリサイクルについても学び、ゴミの減量や地球温暖化防止まで思いをめぐらせた。



2007年度 鎮守の森探検隊「これで君も生き物博士だ！」

11月18日(日) 楽寿園「森の樹木を感じよう」

講師：山口康裕、田所雅子

28名の参加者はクイズを交えた話や8千年前と現在の森林面積の比較そして地球温暖化防止と樹木の大切さを学んだ。また、チームを作り「森の探検団」となって、ヒントから木を探し出したり、ビンゴカードを手に木の実を探すネイチャーゲームを楽しんだ。

1月13日(日) 松毛川「冬鳥と植物に出会おう」

講師：滝道雄、菅原久夫

20名の参加者は、講師が見つけた鳥を望遠鏡で観察して、名前や特徴を学んだ。モズの生贄、カルガモ、アオサギ、ミサゴ、キジなど約20種類の鳥を観察した。また、講師から絵本を使って季節の植物の話や春の七草の説明を受け、松毛川河畔林を初めとした故郷の森の大切さを学んだ。

1月27日(日) Via701「ネイチャークラフト・虫のお話」

講師：加須屋真、富士常葉大・自然体験活動研究会学生
市内や近隣の小学生や園児ら30名は、講師の大学生からドングリや松ぼっくり、貝殻を組み合わせて鳥や動物などを作る手ほどきを受けながら完成させた。また、講師からは昆虫の生態の話もあった。



冬鳥の観察



ネイチャークラフト

昆虫標本箱作成講座と昆虫博物館「こん虫館」完成！

加茂川町の「悠遊工房ひろかわ」内に手作りの昆虫博物館が完成した。遊水匠の会やせせらぎシニア元気工房のメンバーを中心に、大学生や子どもたちも協力して作業を進めた。

3月20日(木)、23日(日) 昆虫標本箱作成講座で渡辺隆司先生の指導の下、子どもたちは飼育していたカブトムシやクワガタムシを標本にし、切り株や葉で飾りつけた色とりどりの標本箱を展示した。



「こん虫館」

情報いっぱい「せせらぎの街・三島ぐるっとエコツアーナビ」

まちナビ「せせらぎの街・三島ぐるっとエコツアーナビ」は稼働から2年目を迎えた。昨年度の実証試験では、国土交通省などの関係者から、他の実施地域と比較して、構成や情報量等、出来ばえについて高い評価を得た。特に、富士山の眺望がどこでも瞬時に見ることができたり、GW三島の得意分野のエコ情報を含め、携帯を使用した三島市内の周遊観光に役立っている。皆さんもアクセスしてみませんか。

<http://mishima-navi.jp/>

携帯電話からは別途ポケット通信料が必要
パソコンからもアクセス可能



苦労した「三島そば」の収穫

昨年12月1日、2日の両日に「三島そば」の収穫、脱穀が行われた。9月上旬の台風で8割も被害を受けたが、再度種まきをし約85kgを収穫することができた。

大晦日には、収穫した「三島そば」を使い年越しそば打ち教室がVia701で開かれた。「GW三島そばづくり隊」のメンバー35人が参加し、安室弘治さん指導の下、300食のそばを打った。「三島そば」は風味が良く甘みがあると上々の評判で、「JR三島駅前の食事処」で販売された。



「三島そば」のそば打ち教室

日韓バイカモ交流

境川・清住緑地愛護会主催による、韓国の梅花藻の里を訪ねる「日韓バイカモ交流ツアー2008」の参加者一行が5月16日～18日(2泊3日)、韓国を訪問した。

この時期は、韓国でも絶滅危惧種に指定されているバイカモが江華島内の保護地において美しく可憐な白い花を咲かせ、素晴らしい韓国の原風景を堪能した。

また、参加者たちは「ともにバイカモを育成している仲間同士の交流ができて、韓国の歴史や食文化も楽しめた有意義な旅だった」と語った。



韓国のバイカモ

山の虫調査隊 ワラマキはずし講座

昨年8月に「虫のすみかをつくろう！ワラマキ講座(沢地)」で16本のヒノキに巻いたワラをはずし、集まっていた虫の観察をした。

約20名の参加者は、井上智雄先生の指導でワラをはずし、クチキコオロギやワシグモ、きれいな空気のバロメーターとなるヤニサシガメなどを観察した。久保田克哉先生からは透明のケースに入れた虫たちの説明を聞き、じっくりと観察することができた。

参加者は幼虫と成虫の見分け方や、虫は必ずしも暖かい方に集まるとは限らないこと、ワラマキの位置が高いほど虫がたくさん入るが、ムカデは下の方によく入るなど虫の種類による特徴も学んだ。



ワラマキはずしの様子

**源兵衛川水辺環境保全
チャリティーコンサート**

GW三島では、4月1日、みしまプラザホテルにおいて「チャリティーコンサート・松坂由子 桜月夜に唄う」を開催。このコンサートは、昨年12月に起きた生コン流出事故によって危機的環境被害を受けた源兵衛川を“元のような豊かな水辺環境に”という願いで開かれた。

収益金は「源兵衛川を愛する会」に寄贈され、今後の源兵衛川の水辺自然環境の再生保全に活用される。



Smile スマイル

ふじい 藤井 まさあき 正明さん くまい 熊井 すずむ 隆さん

2人は団塊世代の先がけ。共通点も多く、GW三島への参加のきっかけも似通っている。



藤井 正明さん

広島県福山市出身。東京都品川区の電機会社に就職し、昭和45年、沼津工場へ転勤。住まいを御殿場市に構える。平成15年、定年を機に三島市谷田夏梅木に転居。新鮮な野菜が豊富なことや温暖なこと等で「三島」が大変気に入っている。

GW三島への関わりは、一昨年GW三島が公募したエコ・リバー養成講座のチラシを見て参加したことからである。

企業戦士であった頃、一貫して技術畑を歩き、ISO14000等を担当したことから、環境問題に強い関心を持っていた。講座修了後、富士宮市の白糸の滝に設置されたバイオトイレの管理を依頼され、GW三島の活動に飛び込んだ。

現在は、毎月開催されるインストラクターミーティングの進行役を務め、視察対応も率先して行うリーダー的な存在である。日常は自動車をほとんど使わず、自転車と歩き。趣味は、夏はヨットで冬はスキー。



熊井 隆さん

静岡県裾野市出身。4歳で小田原へ転居。勤務先では製造技術開発を担当し、57歳の役職定年まで勤めた。父方の実家が三島であったため、幼少の頃からよく三島へ遊びに来ていた。平成14年には三島市川原ヶ谷緑ヶ丘に居を構えた。

GW三島へは、エコ・リバー養成講座に続く富士山湧水インストラクター養成講座のチラシがきっかけ。講座修了後、「ゆうすい調査隊」の一員として活躍。現在は、三島市内及び周辺各地の湧水の調査を毎月行い、地道な活動を積み重ねている。

公害・環境問題に造詣が深く、「好きな分野での活動なので、面白くやっています」とにっこり。笑顔が素晴らしい。日頃よく歩く。以前は各種のウォーキングのイベントに参加し、15~25km歩いてきた。昨年に引き続き今年も日韓バイクモ交流事業に参加し、江華島を訪れた。

**三島測候所跡地のマンション計画
白紙・撤退へ**

三島市東本町の三島測候所跡地に、13階建てマンションが計画されていたが、粘り強い市民運動の成果で開発業者の(株)マリモ(広島市)が計画を白紙にし、撤退する意向を明らかにした。計画ではマンションは高さ39mで平成20年8月着工の予定だった。隣地の無人観測と近隣の日照などへの影響が懸念され、地元自治会と「三島測候所を保存する会」は建設反対の署名活動など全市的な運動を展開した。

同社と地元自治会、「三島測候所を保存する会」(事務局:GW三島)の三者が建設の取止めや土地の売却方針などを盛り込んだ覚書を3月21日に交わした。土地については、三島市や静岡県など行政側に購入を強く要請していく。

パッション

**五月闇 三島の水辺は
螢が乱舞**



発足して満17年。三島の水辺にホタルを飛ばすことを目標に活動。時には、小学校から依頼され、ホタルや水の話などを行っている。

会員宅で育てているホタルの幼虫を、源兵衛川へ毎年3月上旬に放流。5月に入るとホタルが飛び始める。楽寿園、源兵衛川、笑栄通りで繰り広げられる「水と螢のフェスティバル」は、毎年6月第1土曜日(今年は6月7日)に開催され初夏の風物詩として定着している。昨年末の生コン流出事故の影響でホタルの発生を心配したが、早くも5月4日“水の苑緑地”付近で2匹のホタルを見たとの情報にホッとした。三島ホタルの会 会長 志村 肇

「三島市民サロン」の発足四年目、昭和五十二年私たちは映画制作を思い立つ。講演会という受け身の運動からの脱出を映画の自主制作に賭けたのだ。私たちにあって映画は青春そのものであり、身近に五所さんが居たからだ。「僕知らないよ。素人が考えるほど簡単なものじゃあないよ、映画作りは」。そう言う五所さんを説き伏せ、三島の象徴・水をテーマに故郷の原状を次代に残し、如何にすべきかを追求したかった。

「三島の水を守る会」の水窪先生と言われた窪田精四郎医師の子息窪田誠一、渡辺善治、渡辺和信、山岡修一、小野徹、それに村上信吾、山田信春、中川等が中心になって先ず資金募集に立ち上がった。当初予算は五百万円。窪田誠一医師が数十万円の撮影機を寄贈してくれたが私たちの手に余り結局五所組の「笈の会」にお願いすることにした。「わが街三島 一九七七年の証言」は、企画制作三島市民サロン、監督五所平之助、脚本

堀江英雄、撮影佐藤昌道、山岡修一、音楽渡辺善治、ナレーター久我美子、出演者は小出正吾(児童文学)、窪田精四郎、大岡信、五所平之助、その他多くの方々の子供たち。数ヶ月を費やしその年十月に完成。新聞TVは地方文化の快挙とほやし立て、資金援助をしてくださった市民約三千人が数回にわたり公会堂を埋め尽くしてくれた。しかし完成に到るまでの私たちは、資金繰りや、ロケハンの車や食事の手配、三島傘やアヒルの調達、カメラの足場造り、古い水車探して山梨まで。宿舎の手配や持ち回りの夕食会。皆楽しく自腹を切った。柿田川での撮影では山岡修一はもちろぬ亀山千宏(フジTV)が何回も水につかってくれた。それにもまして音楽の渡辺善治先生の音作りは自宅の風呂場トイレまで使った録音で話題をさらった。五所平之助監督の十九本目の最後の作品は、市内の小中学校を巡回したり、昭和天皇一家の鑑賞を得たりして、私たちを喜ばせた。(敬称略)



映画 『わが街三島 一九七七年の証言』
なかがわ 中川 和郎 著
GW三島 顧問 顧問

あなたの時間とその手を、ちょっとだけ・・・
「ミシマバイカモ」ボランティア大募集！

湧水の減少とともにミシマバイカモは三島から一度姿を消してしまいました。しかし「大切な三島の宝物・ミシマバイカモ」を再び三島の清流に戻したいと、佐野美術館所有の湧水池にミシマバイカモを保護育成する施設「三島梅花藻の里」を作りました。そこで長い間、ボランティアの手により、ミシマバイカモを大切に育む活動を行っています。一緒にボランティア活動をしませんか？

場所：三島梅花藻の里
日時：毎週月、木曜日
毎月第2日曜日（定例作業日）
10:00～11:30（雨天中止）
持ち物：帽子、ゴム手袋、軍手
服装：長袖、長靴
内容：バイカモの手入れ、周辺清掃
連絡先：GW三島事務局
TEL/FAX 055-983-0136



「ミシマバイカモ」一緒に育てましょう！

視察に訪れたみなさん H19.11～H20.5

月	日	団体名	人数	住所
11	1	豊田市河川課	25	愛知県
11	5	白子川流域環境協議会	8	東京都
11	9	吉田町女性団体連絡協議会	25	静岡県
11	9	宮城県土地改良事業団体連合会	13	宮城県
11	10	現代都市政策研究会	6	東京都
11	17	東京農工大学生存科学技術研究院	23	東京都
11	18	ふらっと運営会議	35	静岡県
11	20	愛知県豊明市協働推進委員会	40	愛知県
11	21	さいたま市西区自治会連合会	43	埼玉県
11	21	四日市市議会	2	三重県
11	28	北区リサイクル活動機構	40	東京都
12	18	静岡県環境保全研究所	2	静岡県
12	25	アールアンドディー・アイスクエア株式会社	3	東京都
1	24	愛知県豊明市協働推進委員会	10	愛知県
1	29	九十九里町土地改良区連合協議会	25	千葉県
1	29	日高川町議会	21	和歌山県
2	4	三芳町議会議員	1	埼玉県
2	5	遠藤まぢづくり推進協議会	24	神奈川県
2	7	沖縄県文化環境部環境保全課	5	沖縄県
2	19	NPO法人市民活動サポートセンターいなぎ	20	東京都
2	24	青少年田端地区委員会	30	東京都
2	25	全国土地改良事業団体連合会(全国水土里ネット)	1	東京都
3	4	三重県立相可高等学校	3	三重県
3	5	袋井駅前商店街協同組合	20	静岡県
3	12	金沢区町内会連合会	45	神奈川県
3	26	石川工業高等専門学校	6	石川県
4	4	太陽コンサルタント新人研修	10	東京都
4	20	早稲田大学NPO実践論	24	東京都

GW三島活動記録 2007年11月1日~2008年5月31日

月	日	曜日	事業名	内容	場所	人数
11	3	土	三島門前屋台村	大通り宿場まつり出店	大通り商店街	57
11	5	月	三島商店街大学	三島ぶらり散策(城所講師)	Via701	8
11	6	火	三島商店街大学	三島のうなぎはなぜうまい?(関野講師)	Via701	19
11	10	土	富士山湧水インストラクター	湧水調査(東麓グループ)	根野市内	2
11	12	月	富士山湧水インストラクター	湧水調査(北麓グループ)	山梨県内	3
11	13	火	韓国江華郡守三島訪問	三島市内	三島市内	10
11	13	火	三島商店街大学	三島の魅力を知ろう(まちなみ再生課・福田講師)	Via701	22
11	14	水	富士山湧水インストラクター	湧水調査(東麓グループ)	御殿場市内	5
11	16	金	スタッフ会議		Via701	10
11	17	土	松毛川ワンデイチャレンジ	植樹と周辺の草刈り、ゴミ拾いなど	松毛川	35
11	18	日	境川・清住緑地	緑地整備	境川・清住緑地	21
11	18	日	鎮守の森探検隊	森の樹木を感ぜよう(自然観察会とバナー作り)	桑園園	28
11	20	火	三島商店街大学	魅力の街三島を歩こう(中屋勇講師)	Via701	13
11	23	金	日韓バイカモ環境交流	韓国より来訪(11/25)		15
11	23	金	グランドワーク全国研修センター	現地視察	三島市内	40
11	23	金	グランドワーク全国研修センター	基調講演・シンポジウム	三島グランドホテル	20
11	25	日	富士山湧水インストラクター	湧水調査(三島グループ)	三島市内	4
11	27	火	みしまESD環境出前講座	リサイクルってなあに	浜地	39
11	28	水	富士山湧水インストラクター	湧水調査(北麓グループ)	山梨県内	2
11	29	金	富士山湧水インストラクター	湧水調査(北麓グループ)	山梨県内	2
11	30	金	みしまESD環境出前講座	ビオトープの意味や歴史、学校周辺の植物	長伏小	65
12	1	土	そばづくり隊	収穫・脱穀作業	三ツ谷そば畑	21
12	2	日	境川・清住緑地	視察研修(パス研修)	境川・清住緑地	31
12	2	日	山の虫調査隊	富士山周辺の自然観察	富士山周辺	22
12	5	水	まちなび	第3回検討委員会	三島市民活動センター	21
12	7	金	みしまESD環境出前講座	秋とあそぼう(ビオトープと校庭の生き物観察)	長伏小	55
12	8	土	富士山湧水インストラクター	湧水調査(南麓グループ)	三島市内	2
12	11	火	そばづくり隊	「三島そば」分別作業	悠遊工房ひろかわ	7
12	11	火	富士山湧水インストラクター	湧水調査(北麓グループ)	富士宮市内	3
12	14	金	富士山湧水インストラクター	湧水調査(西麓グループ)	富士宮市内	29
12	15	土	境川・清住緑地	整備作業	境川・清住緑地	2
12	18	火	みしまESD環境出前講座	収穫祭・野鳥観察会	三島西小学校	80
12	18	火	三島梅花藻の里	生垣架け替え作業等	三島梅花藻の里	60
12	19	水	そばづくり隊	「三島そば」分別作業	悠遊工房ひろかわ	12
12	20	木	桜川を愛する会	整備作業(落ち葉の除去)	桜川・白滝公園付近	8
12	21	金	忘年会		Via701	25
12	24	月	富士山湧水インストラクター	湧水調査(南麓グループ)	Via701	12
12	25	火	緑のコンクリート・スタッフ会議	源兵衛川生コン流出による環境再生について	Via701	2
12	27	木	源兵衛川	静岡県・施工業者へ申し書提出	大中鳥舎館	16
12	29	土	源兵衛川	源兵衛川生コン流出環境影響評価・水辺観察会	源兵衛川	30
12	31	日	そばづくり隊	年越しそば打ち教室	Via701	42
1	5	土	桜川を愛する会	整備作業(落ち葉の除去)	桜川・白滝公園付近	13
1	11	金	まちなび	実証試験(アンケート調査~1/18)	三島市観光案内所周辺	50
1	13	日	鎮守の森探検隊	冬鳥と植物に出会おう!	松毛川(灰塚川)	2
1	13	月	富士山湧水インストラクター	湧水調査(南麓グループ)	三島市内	20
1	15	火	みしまESD環境出前講座	郷土郷土池の鳥類	三島南中学校	20
1	20	日	境川・清住緑地	緑地整備	境川・清住緑地	31
1	25	金	みしまESD環境出前講座	近隣の人々の生活を考えよう (放置竹林の剪竹を活用した竹とんぼづくり)	三島南小学校 三島南小学校	35 35
1	27	日	鎮守の森探検隊	最終「ネイチャークラフトとお話」	Via701	30
1	29	火	腰切不動尊	1月例祭	腰切不動尊	10
1	29	火	山の虫調査隊	ワラキ外し	広川建設資材置場	44
2	3	日	森のきこり講座	自然観察、間伐体験	広川建設資材置場	44
2	7	木	静岡県委託事業	第1回源兵衛川環境モニタリング調査	源兵衛川	17
2	7	木	まちなび	第4回検討委員会	Via701	20
2	8	金	地口行灯と竹あかり	竹あかりイベント(2/12)	三石神社・時の鐘前	16
2	8	金	富士山湧水インストラクター	湧水調査(西麓グループ)	富士宮市内	4
2	9	土	みしまESD環境まちづくりゼミ	開講式・オリエンテーション	三島市民活動センター	20
2	9	土	みしまESD環境まちづくりゼミ	座学1 協働によるまちづくりとは 事例①三島	三島市民活動センター	20

定例作業：三島梅花藻の里での作業が原則として毎月第2日曜日と毎週月曜日の計38回
鏡池での作業が原則として毎月第1土曜日の計1回
源兵衛川での作業が原則として毎月第2日曜日の計3回
定例会：インストラクターミーティングが7回
スタッフ会議が計6回

【お知らせ】

渡辺豊博GW三島事務局局長は、平成20年3月31日付で静岡県庁を早期退職し、4月1日、都留文科大学文学学部社会学科環境・コミュニティ専攻の教授に就任しました。

グラウンドワーク三島 ボランティアニュース35号編集室 (GW三島事務局 担当：日野美奈子)

大島公好子 川崎徳子 岸野和子 城所相帝 小松幸子 斎藤彩子 坂井良重 本田博子 前田亮子 水野幾子 村澤圭 山崎多紀子(50音順)